



合併協議会だより

発行: 伊勢市・二見町・小俣町・御園村任意合併協議会

〒516-0021 伊勢市朝熊町字鴨谷4383-4 三重県営サンアリーナ内

TEL0596-21-1020 FAX0596-21-1022

新市将来構想の検討に向けて

「タウンウォッチング」を開催

合併後の新市まちづくり構想の検討に向けて、「新市まちづくり委員会」の委員と「新市まちづくり隊」の隊員を対象に、11月24日、「タウンウォッチング」を開催しました（「新市まちづくり委員会」と「新市まちづくり隊」の関連記事を4ページに掲載）。

伊勢市・二見町・小俣町・御園村任意合併協議会では、11月24日に「タウンウォッチング」を開催しました。

これは、4市町村の現

状や主要施設などを実際に見て回り、地域の問題点や課題などを把握し、合併後の新市将来構想（まちづくりビジョン）に役立ててもらおうと行



▲伊勢河崎商人館を見学する参加者

つたもので、新市まちづくり委員とまちづくり隊員など、31人が参加しました。この日、県営サンアリーナを貸切バスで出発した一行は、伊勢市、御園村、小俣町、二見町の順に、

まちづくりの

ポイントを学習

—まちづくり講演会—

11月24日の午後、二見町老人福祉センターで「まちづくり講演会」を開催し、「タウンウォッチング」の一行と一般参加者、合わせて49人が参加しました。

これは、市町村合併についての理解を深め、合併の必要性やまちづくりのポイントなどを学習する機会として設けたもので、講師には四日市大学総合政策学部教授の岩崎恭典さんを招きました。「地方分権、市町村合

それぞれの公共施設や町並みなどを見て回りました。途中、伊勢河崎商人館や伊勢広域環境組合では、ガイドや係員からの詳しい説明も受けました。参加した隊員は、「今まで知らなかった施設のことも知ることができた」「一日でたくさんの施設を回り、結構ハードだっ



市町村合併とまちづくり計画
日市大学総合政策学部 岩崎恭典 教授

▶講師の岩崎恭典教授
併とまちづくり計画」の演題で、地方分権の概要や官民の役割分担、住民との協働自治の必要性、まちづくり計画の重要性など、多岐にわたる内容に、参加者は熱心に聞き入っていました。

ただ、新市まちづくりを考えるための材料がたくさん得られました」と話していました。こういったことを通じて、まちづくり隊員から出されたさまざまなレポートを参考に、今後、まちづくり委員会が中心となって新市将来構想を検討していきます。

4市町村の財産や税金、

町・字などの取り扱いを協議

— 第4回・第5回任意合併協議会で —

伊勢市、二見町、小俣町、御園村の4市町村が、相連携し、合併についての調査・研究や公式協議を行うため、8月16日に設立した任意合併協議会。その設立総会から第3回協議会までの内容は、10月発行の創刊号でお知らせしました。今回は、その後開催した第4回と第5回協議会の概要をお知らせします。



▲三重県営サンアリーナで開催した第4回協議会

第4回協議会

10月30日、三重県営サンアリーナで、第4回任意合併協議会を開催しました。

協議会には各市町村長と議会議長、南勢志摩県民局長を含む全委員が出席し、「合併後の4市町村の財産」と「議会議員の定数・任期」、「農業委員の定数・任期」、「地方税」、「特別職の身分」、「条例・規則」の6項目の取り扱いを協議しました。

また、事務局が取り組んでいる新市将来構想策定業務や行政評価・住民意識調査業務、新市例規策定支援業務などの進捗状況の報告も行いました。協議事項の概要は、次の通りです。

■財産

4市町村の財産は全て、新しい市に引き継ぐことを前提に、今後、各専門部会等で検討していくこととしました。

■議員の定数・任期

新設（対等）合併の場合

合、合併関係市町村の廃止と同時に議員は失職するため、合併特例法による特例措置を適用するか、また、適用する場合は、定数特例、在任特例のいずれを適用するのか、今後も引き続いて協議していくことになりました。

■農業委員の定数・任期

新市の農業委員会を一本化し、4市町村の農業委員会の選挙による委員は、合併後一定期間、引き続き在任する方向で今後、専門部会で調整していくこととしました。

■地方税

市町村民税の個人均等割、都市計画税の賦課、納期等に4市町村間で一部差異があるため、不均一課税の適用も視野に入れて、今後、専門部会で調整していくこととしました。

■特別職の身分

新設合併の場合、市町村長、助役、収入役、各種審議会委員等特別職の委員は合併の日の前日をもって失職し、新市の長の選挙は、合併の日から

50日以内に行われること
になります。

特別職、行政委員会は
新市にも置くこととし、
その他附属機関等は現行
制度の維持に努めながら
統廃合等に向けて、また、
給料・報酬等は類似団体
を参考にしながら、専門
部会で調整していくこと
としました。

■ 条例・規則

新設合併の場合、4市
町村の現在の条例・規則
等は全てその効力を失う

ため、新市で新たに条例・
規則等を制定、施行する
必要があります。

4市町村同一、同趣旨
の条例・規則等は現行の
例により、類似あるいは
相違するものは、事務事
業のすり合わせ状況も考
慮しながら、統廃合でき
るものは統廃合し、合併
後の住民サービスに支障
なく適切な措置が講じら
れるよう、今後、専門部
会で調整していくことと
しました。

事務事業を調整

専門部会と分科会で

市町村合併の諸課題を



▲ 11月8日の専門部会（伊勢市役所で）

協議する上で、各市町村
の事務事業や制度などの
すり合わせが必要です。
現在、この事務事業等
一元化に向けた作業が進
んでいます。具体的には、
各市町村で行っている事
務事業等を約2千4百項
目に分類し、それぞれ市
町村の担当者で構成する
専門部会、分科会が中心
となって、調整を図って
います。
これらは、今後、調整
方針案にまとめ、協議会
に諮ることになります。

第5回協議会

11月25日には、第5回
任意合併協議会を開催し
ました。

この日は、「一般職員の
身分」、「一部事務組合等」、
「公共的団体等」、「町・
字の区域及び名称」、「慣
行」、「国民健康保険事
業」の6項目の取り扱い
を協議しました。

また、新市まちづくり
委員会と新市まちづくり
隊による将来構想策定業
務や住民意識調査、電算
システム現状調査の進行
状況の報告も行いました。

協議事項の概要は、次
の通りです。

■ 一般職員の身分

4市町村の一般職の職
員は、合併特例法の規定
により、すべて新市の職
員として引き継ぎ、職員
数は、定員適正化計画を
策定し、定員管理の適正
化に努めるとともに、職
員の職名、職務は合併時
に統一し、給与は、専門
部会等で調整していくこ
ととしました。

■ 一部事務組合等

一部事務組合等は、そ
れぞれ構成市町村が異な
るため、経費の負担割合
等も含め、関係市町村間
で協議するとともに、協
議会としてもこの問題に
主体的に取り組んでいく
ことになりました。

■ 公共的団体等

新市の速やかな一体性
を確立するため、各団体
の実情を尊重しながら、
統合整備に努めていくこ
とになりました。具体的
には、4市町村に共通し
ている団体は、合併時に
統合し、独自の目的を持
った団体は、原則として
現行通りとなるよう各専
門部会で調整、検討して
いくこととしました。

■ 町・字の区域、名称

町・字の区域は従来の
通りとし、名称について
は、極力既存の地名を残
す方向で今後、専門部会
等で検討の上、協議会
でも調整していくことにな
りました。

■ 慣行

市章・市民憲章・市の

花・木等は、新市で新た
に定め、宣言についても、
新市で調整していくこと
になりました。

■ 国民健康保険事業

国民健康保険税(料)の
賦課徴収・保険給付事業等
は、各市町村で差異がある
ため、5年間の不均一課税
(賦課)方式も考慮しなが
ら、専門部会で調整してい
くことになりました。ま
た、新市における国保運営
協議会の組織・運営等も、
専門部会で調整していくこ
ととしました。

今後の取り組み

協議会では、今後もほ
ぼ月1回のペースで会議
を開催し、残る合併基本
項目や合併協定項目など
について協議します。

さらに、新市将来構想
の策定や法定協議会の設
置に向けた検討、事務事
業の調整なども行います。

また、これらの協議と
平行して、今後、各市町
村で「住民説明会」も開
催する予定です。皆さん
のご協力をお願いします。

新市将来構想の策定に向けて

まちづくり委員会を組織

11月18日、第1回「新市まちづくり委員会」を開催しました。

このまちづくり委員会は、4市町村から推薦された12人と識見者2人で構成し、合併した場合の

新市の基本理念や10年後を見越したまちづくりの基本方向（新市将来構想）

などを住民の視点、専門的見地から検討するものです。

委員長には皇學館大学

社会福祉学

部教授の櫻

井治男さん

が、副委員

長には御園

村の大西勝

洋さんが選

ばれました。

この日の

委員会では、

合併協議の

流れや委員

会の役割、

地域の概要

などについて

事務局から

説明の後、

今後の委員

会の進め方

や日程など

が話し合われました。

今後は、月1回程度、

委員会を開催するとともに、

住民意識調査やまち

づくり隊レポートなどの

結果を踏まえ、フォーラ

ムなどの開催を通して新

市将来構想に反映していき

ます。

まちづくり隊発足

また、新市のまちづくりに向けて、地域課題の発見などに当たる「新市まちづくり隊」も発足しました。

これは、住民参加のまちづくりを目指し、10月に協議会が募集したもので、4市町村の住民百93人が応募しました。

地域の気になる場所についての意見やアイデア、

情報など、隊員から寄せ

られたレポートは、新市

将来構想策定にあたって

の参考資料となります。

合併に関する皆さんの声

寄せられた意見などを紹介します

協議会では、市町村合併に関する皆さんからの意見・提案・感想などを募集しています。

皆さんからの貴重な意見・提案などは、今後の合併協議を進める上での参考とさせていただきます。

意見などの送付には、左ページの「意見送付用封筒（切手不要）」か、協議会ホームページの「意見箱」をご利用ください。

これまでに寄せられたお便りなどは、現在、ホームページのお便りコーナーで公開しています。ぜひご覧ください。

今回、その中の一部を抜粋してご紹介します。

* * * * *

伊勢市、一見町、小俣町、御園村の合併に賛成です。

ぜひ一日も早く合併してください。地域エゴを出さずに、合併して大きな市になることを目標に進めてください。4市町村が一つになることにより、道路やいろいろな事業をする場合に広域的にやれるメリットもあ

り、また効率的にやれると思います。（伊勢市/男性/30代）

改革なくして合併ナシ。合併はあくまでも手段。効率よく少ない職員で十分なサービスが行えればOK。それができなければ合併しても意味がない。合併する前に、職員数や効率的行政サービスの一定の目標を作り、それを各市町村に合併条件として合併するまでに守らせ、達成させることが重要。そこで生まれる余剰人員により何をするか、知恵を絞ってもらいたい。（二見町/男性/30代）

小俣町民として反対です。下水道設備、図書館等の公共施設の充実や福祉バスなどのサービスをみても町自体で充分整っており、逆に合併することで行政サービスの低下が懸念されます。この合併に利点があるとは思いません。逆に税金

が上がるのではないですか？上・下水道料金など伊勢市は高額だとききました。（小俣町/女性/30代）

情報など、隊員から寄せられたレポートは、新市将来構想策定にあたっての参考資料となります。

が上がるのではないですか？上・下水道料金など伊勢市は高額だとききました。（小俣町/女性/30代）



▲サンアリーナで開催した第1回新市まちづくり委員会

市町村合併について ご意見をお寄せください

伊勢市・二見町・小俣町・御園村任意合併協議会では、市町村合併に関するご意見やご提案、協議会だよりをご覧くださいの感想など、皆様からのお便りを募集しています。

この用紙を点線部分で切り取り、のりで貼り付けてポストに投函してください(切手は不要です)。なお、お寄せいただいたご意見等は、協議会だよりやホームページに掲載させていただくことがあります。

該当するところを で囲んでください。

【住所】 伊勢市・二見町・小俣町・御園村
その他

【性別】 男 ・ 女

【年齢】 10代・20代・30代・40代
50代・60代・70歳以上

谷折り

ご意見

このご意見を公表してよろしいですか。
はい ・ いいえ

住民意識調査の 回収状況

＊速報＊

協議会では、市町村合併に関する住民の皆さんの意見をお聞きするため、「市町村合併に向けてのまちづくり意識調査」を実施しました。

4市町村に在住の方3,000人を無作為に抽出し、11月中旬に調査票をお送りしました。期限までに1,633人から回答が寄せられ、回答率は54.4%でした。

現在、データの集計・分析を行っています。集計・分析結果がまとまり次第、皆さんにお知らせします。

まちづくりフォーラムを開催

新市まちづくり委員会が、市町村合併後のまちづくりを住民の皆さんとともに考えていくための「まちづくりフォーラム」を開催します。

市町村合併をテーマにしたパネルディスカッションや提案発表などを予定しています。皆さんお気軽にご参加ください。

日時 平成15年1月22日(水)

午後7時から9時まで

会場 ハートプラザみその

御園村長屋2767

(御園村役場西側)

「任意協議会ホームページ」の開設おめでとございます。これで何とか合併問題のニュースもリアルタイムで検索でき、流言蜚語に迷うこともなくなりました。とにかく一住民までニュースは届き難く、合併は役場の「偉い方」が、勝手に決めて住民に押し付けて行くものと理解してしまっていました。口では住民本位とは言っているものの、協議会の進捗情報や梓組市町村の行政情報など、住民には何も知らせず勝手に進めている

ような現状。この様な誤解を解消する意味からも、本ホームページのリアルタイムな更新と、幅広い情報の開示に期待しています。(御園村/男性/60代)

合併後の税金や水道料金、職員数など、具体的なことへの意見や要望が多く寄せられています。これらの問題は、現在、専門部会などで調整中です。今後、確定次第、協議会だよりやホームページ、住民説明会などでお知らせします。



(キリトリ線)



(キリトリ線)

6cm

6cm

今後の協議会開催予定

—どなたでも傍聴できます—

第7回協議会	平成15年	1月24日(金)	13:30～
第8回協議会	平成15年	2月25日(火)	9:30～
第9回協議会	平成15年	3月26日(水)	13:30～

- * 内容は、いずれも合併協定項目や新市まちづくり構想などに関する協議を行う予定です。
- * 会場はすべて県営サンアリーナ内の会議室です。
- * 上記の日程などはあくまでも予定です。傍聴を希望されます方は、事前に協議会事務局(TEL21-1020)で日時・会場などをご確認ください。

各市町村の合併担当窓口

協議会を構成している各市町村の合併担当窓口は次のとおりです。

伊勢市市町村合併推進課 (職員は協議会事務局に常駐)
 TEL 0596-21-5538 FAX 0596-21-5605
 E-mail gpk-ise@crocus.ocn.ne.jp

二見町企画課
 TEL 0596-42-1111 FAX 0596-43-3754
 E-mail futami@webmie.or.jp

小俣町総務課
 TEL 0596-22-7858 FAX 0596-22-3454
 E-mail info@town.obata.mie.jp

御園村企画室
 TEL 0596-22-0235 FAX 0596-28-2404
 E-mail misono@amigo.ne.jp

協議会事務局

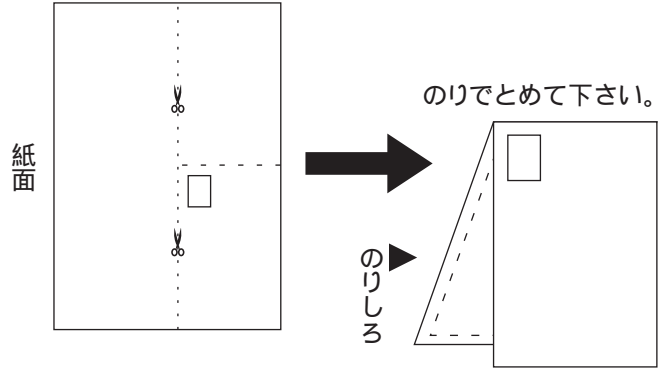
伊勢市・二見町・小俣町・御園村任意合併協議会
 〒516-0021 伊勢市朝熊町字鴨谷4383-4
 三重県営サンアリーナ内

TEL 0596-21-1020 FAX 0596-21-1022
 E-mail:ise-gappeikyogi@crocus.ocn.ne.jp
 URL http://www10.ocn.ne.jp/ifom-gpk/

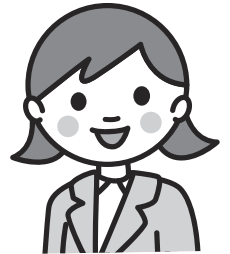
この「協議会だより」は再生紙100%を使用しています。

返信用封筒の作り方

この部分は、協議会へのご意見送付用封筒としてご利用いただけます。図のように切り取ってのりでとめてください。



市町村合併に関するご意見をお寄せください。



山折り

516-8790

料金受取人払

伊勢局承認

245

届出有効期間
平成15年3月
末日まで

伊勢市朝熊町字鴨谷4383-4
三重県営サンアリーナ内

伊勢市・二見町・小俣町・御園村
任意合併協議会事務局 行



未来に夢あるまちづくり